

文月(July)の校長 令和4年度 第1学期終業式校長訓話 (R4.7.22)

令和4年度第1学期終業式は、コロナ感染症の地域の状況は決して良くはなかったものの、節目を大切に、全員体育館に集まりできるだけ短時間で行いました。

吹奏楽部、合唱部にはギャラリーに上がってもらい、校歌斉唱は吹奏楽の演奏のもと合唱部のみが歌う形をとり、教務部、生徒部、進路指導部からの第1学期を振り返って夏休みや第2学期に向けての話に対して、全生徒が真摯に耳を傾けて聴いている姿が印象的でした。

【校長講話】

令和4年度1学期も、依然コロナ禍での学期ではありましたが、ほとんどの行事を予定通り実施することができました。3年課題研究・課題探究発表会、益田未来協働フェスタ、校内スポーツ大会などの各種学校行事や、部活動においては、県高校総体、合唱部吹奏楽部合同定期演奏会、各種大会、夏の高校野球とそれぞれが持てる力を精一杯発揮してくれました。最後まで粘り強く、今まで努力してきたことが伝わる、何よりも見る者に感動を与えてくれる頑張りや、随所に見せてくれました。全体を通して、充実した第1学期だったのではないのでしょうか。

明日から夏休みを迎えますが、コロナ感染症の状況は、全国も、島根も、そして益田もかなり心配な状況です。昨日昼休みに注意喚起の放送があったように、食事や部活動など、マスクを取ったときの自分の行動に責任を持つことが最も大切です。家族感染など、どうしようもない状況もありますが、とにかく油断せず常に健康観察・自己管理に心がけてください。

万一、この夏休み中に、国から、あるいは県からの要請や通知があった場合は、まずはホームページや緊急メールでその対応を指示します。

この後ホームルームで配布される『夏休みの生活心得』や『保健だより』にきちんと目を通して、非常時には必ず学校への連絡をすることも忘れないようにしてください。

それでは、夏期補習、家庭学習、部活動にと、量・質ともに充実した夏休みとなる事を期待しています。元気な笑顔で、2学期の始業式に会えることを楽しみにしています。